

子どもたちを取り巻く環境のことを考えるとき、どんなことが頭に浮かびますか？ 自殺に至るまで追い詰められるいじめ。毎日のように報道される虐待死。不登校や高校中退も依然として多い状態。早くから受験に多くの時間を費やして疲れきった顔の子。ゲーム画面に何時間も縛られて生身の会話ができなくなっている子…。重い気持ちになることが多い昨今ですね。だからこそ、年初は明るくなれそうな話をしましょう。

「キッズニア」をご存じですか？ 子どもたちが好きな仕事を選んで働く体験ができる施設です。お給料をもらい、買い物や習い事や預金もできます。工場、商店、病院、出版社、航空会社、銀行な



中村 尊 (なかむら たける)

キッズニア長崎

ど60社近くの企業が仕事体験パビリオンを提供し、子どもたちに仕事を教えています。パンフレットには「仕事体験を通じた社会参加により、子どもたちは楽しみなが

ら自然に働くことの意味や社会の成り立ちを理解し、「コミュニケーション、自己アピール、他者尊重、自分の行動と責任について、家庭や学校と違う環境で学べます」とあります。

昨年、キッズニア東京を見学しました。子どもたちが真剣に仕事を選び、取り組んでいることに驚き、子どもが本来持っている「のびのびと生きる力」を目の当たり

のを感じました。

その後、ある会議で、県職員の方や大学の先生と「長崎にキッズニアができるといいね！」と盛り上がりました。「修学旅行を呼び込めるし、新たな観光資源になるかも」「オランダ村跡地の有効活用」「長崎の企業にパビリオンを出してもらい1次産業もできるようにしたい」「長崎の子が長崎の仕事が好きになる」「若者の県外流出阻止に一役買えないか」「子どもを育む県としてイメージも良い」など、好き勝手な想像が広がり楽しくなりました。「キッズニア長崎」、年の初めの夢物語はいかがでしたか？
(長崎県子ども若者総合相談センター長、フリースクール代表)